

# ワークスタイルのパラダイムシフトと 「未来オフィス」の在り方

人間にフォーカスしたオフィスの「空間・時間」価値

人と場への F M 投資価値研究部会

2020年10月7日

コロナがもたらした

# ワークスタイルのパラダイムシフト その1

## 現象的には

- ・リモートワークが浸透！
- ・オフィス面積の削減機運！
- ・リアルな「対話・打合せ」「協創コミュニケーション」や「面談」「商談」が不可に！
- ・オンライン（Zoom, Teams等）での仕事術が一般化！

コロナがもたらした

## ワークスタイルのパラダイムシフト その2

「オールドノーマル」 ⇒ 「ニューノーマル」へ

オールドノーマルとは  
従来の社会通念、常識そして制度とガバナンス  
ex 「出社・出勤」、時間に 基づく「仕事」、管理職は「監視職」、FM価値

ニューノーマルでは 何がノーマルになるのでしょうか！  
「時間・空間(場所)」にしばられない働き方、DXが加速し非対面社会に、

コロナがもたらした

# ワークスタイルのパラダイムシフト その3

## Facility Management

設備(ハード)FM ⇒ 生産性向上(デジタル&ネットワーク)FM



DX & IoT

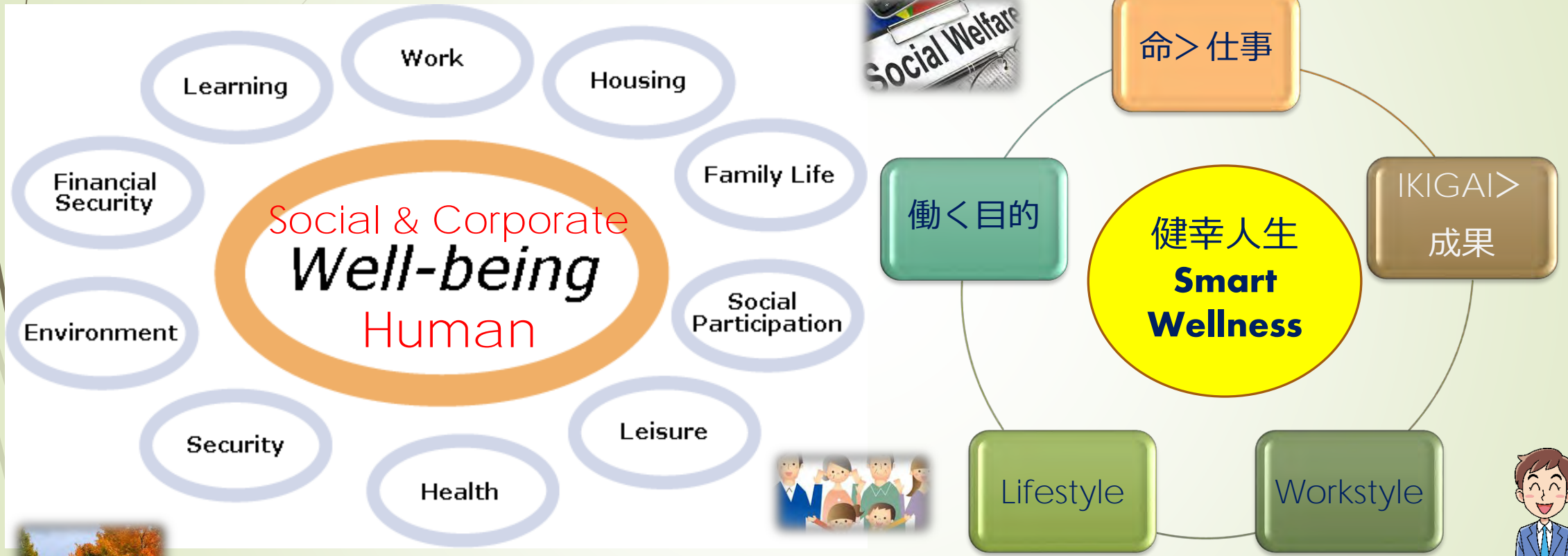
**「人」にフォーカスしたWell-being FM**



# 「人」と「場」への F M 投資価値の本義

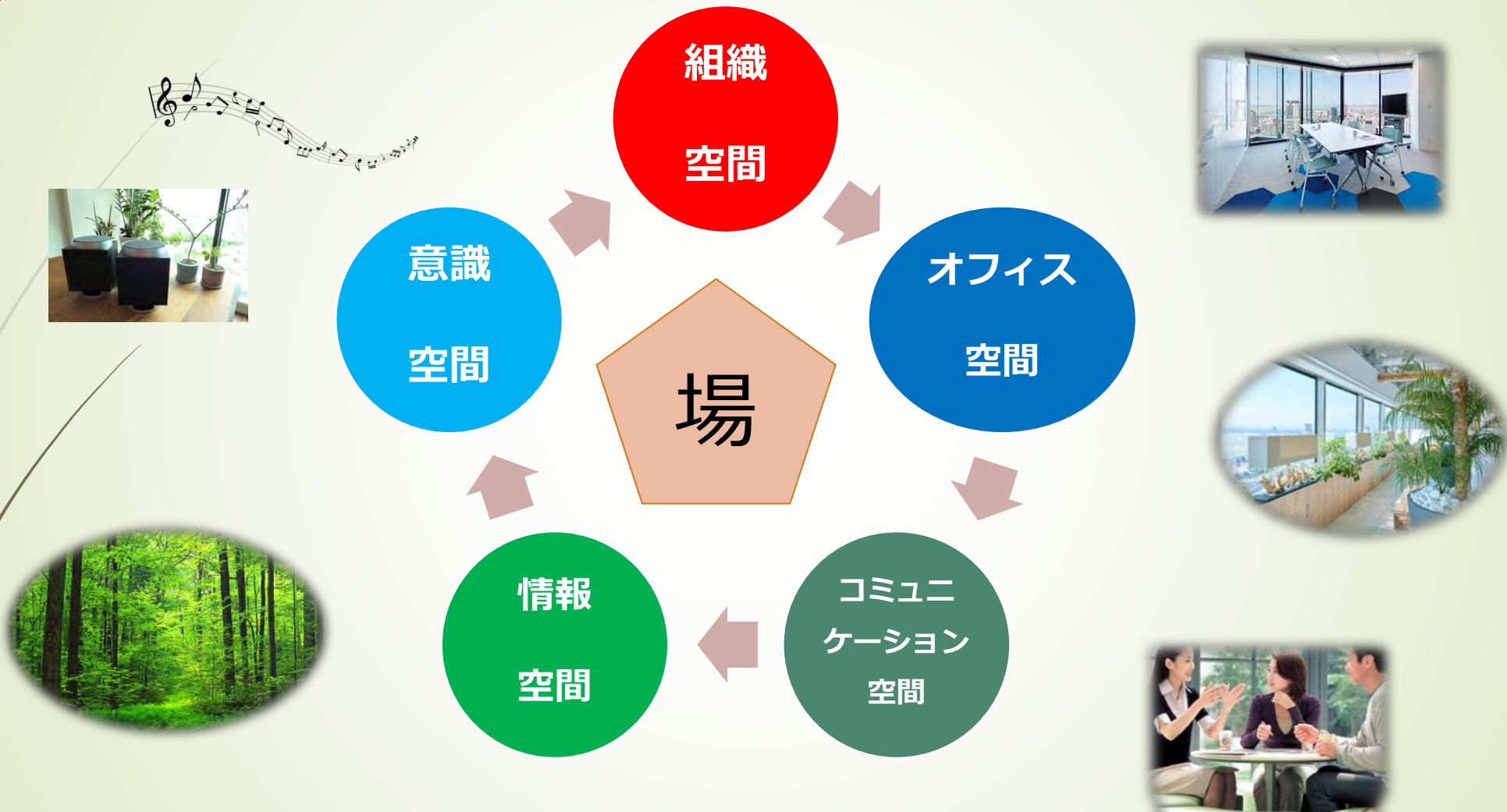


# ニューノーマル時代の F M の社会意義

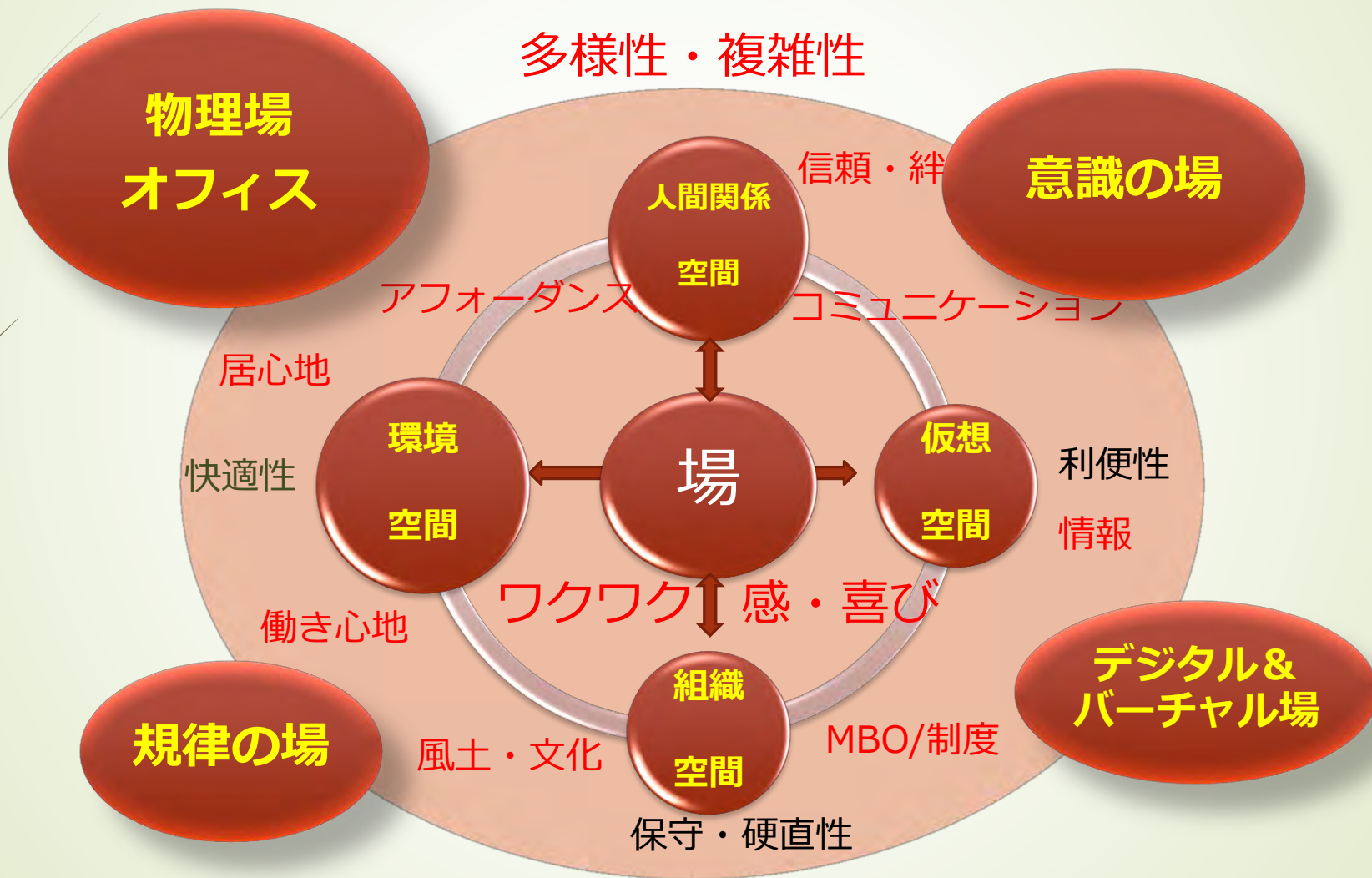





# 「人と場」創造空間とウェルビーイング



# 「場」の考え方








# 「空間・時間」価値を生み出す 『オフィス』の在り方と未来F Mの意義

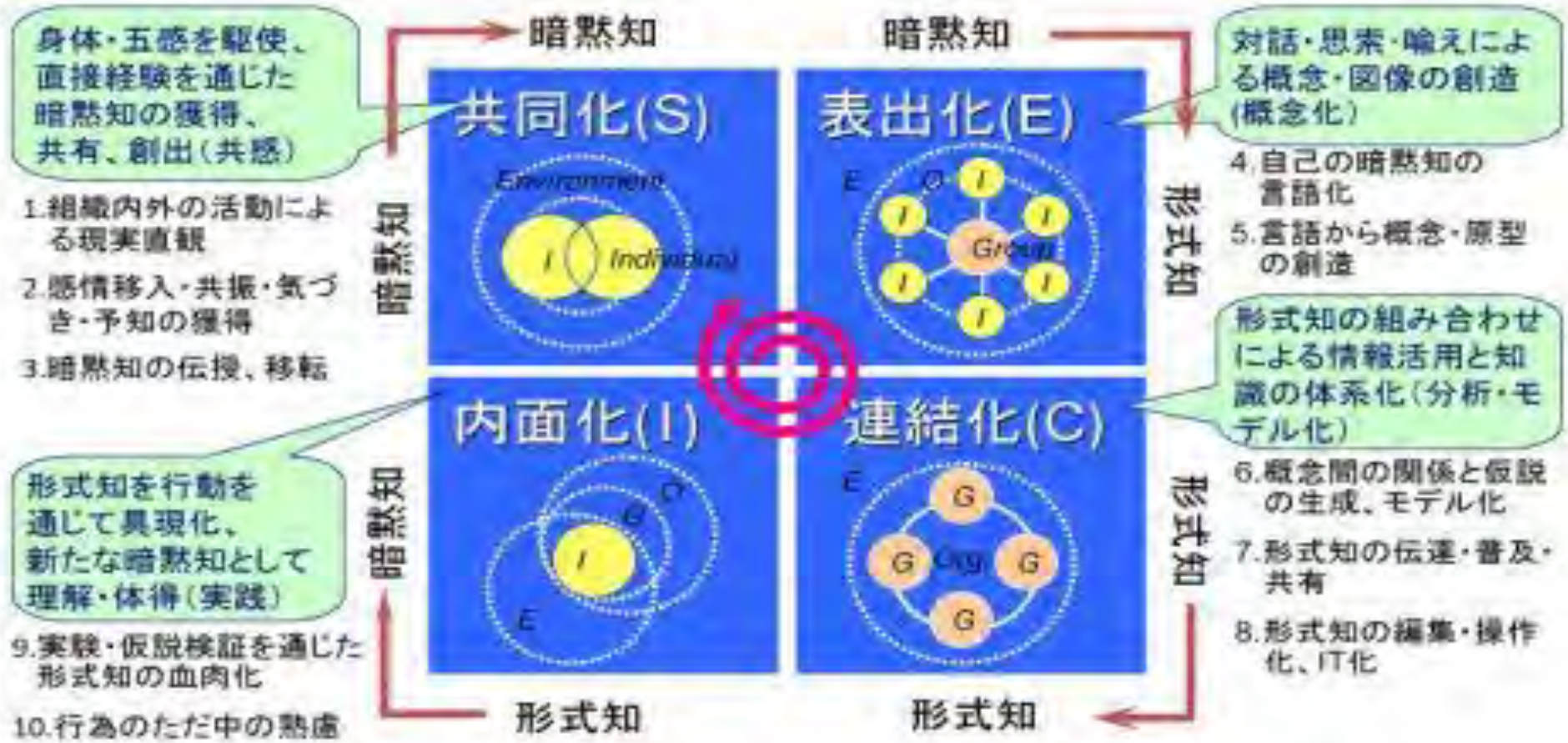
物理的な「空間」と「時間」の意味

オフィスが「不要」ないし「スペース削減」の議論の前に  
「人間」が生み出す価値創造力を最大化する「場」とは、  
を考えてみるのが重要！



知識創造のメカニズムを振り返ってみよう

# 組織的知識創造プロセス - SECIモデル -



身体・五感を駆使、  
直接経験を通じた  
暗黙知の獲得、  
共有、創出(共感)

- 1.組織内外の活動による現実直観
- 2.感情移入・共振・気づき・予知の獲得
- 3.暗黙知の伝授、移転

形式知を行動を  
通じて具現化、  
新たな暗黙知として  
理解・体得(実践)

- 9.実験・仮説検証を通じた形式知の血肉化
- 10.行為のただ中の熟慮


対話・思索・喩えによる  
概念・図像の創造  
(概念化)

- 4.自己の暗黙知の言語化
- 5.言語から概念・原型の創造

形式知の組み合わせ  
による情報活用と知識の  
体系化(分析・モデル化)

- 6.概念間の関係と仮説の生成、モデル化
- 7.形式知の伝達・普及・共有
- 8.形式知の編集・操作化、IT化

I = 個人(Individual) G = 集団(Group) O = 組織(Organization) E = 環境(Environment)



物理リアルオフィスは暗黙知の形式知化  
をファシリテートするプラットフォーム！

未来 F M の視点は、

「人」と「場」が醸成する「価値」がど  
のように創造されるのかを認識・理解し  
たうえでスペースと働き方を設計・デザ  
インしてゆくミッション